

令和7年第4回（9月）上越市議会定例会

農政建設常任委員会資料

案 件 番 号	案 件 名	提 出 課	ページ
議案第89号	令和6年度上越市ガス事業会計決算認定及び利益の処分について	経営企画課	1～13
議案第90号	令和6年度上越市水道事業会計決算認定及び利益の処分について		14～29
議案第91号	令和6年度上越市下水道事業会計決算認定について		30～50
報告第9号	専決処分した事件の承認について(令和7年度上越市水道事業会計補正予算(専第1号))		51～52

決算関連の委員会資料記載方法について

<説明欄の変更>

これまでガス・水道事業の支出については、事務事業単位に基づく区分としていましたが、下水道事業の移管に伴い記載方法を統一するため、予算科目単位に基づく区分に記載方法を変更しました。

2 決算の概要

(1) 収益的収支の状況

収 入

(税抜、単位：千円)

予算科目	令和5年度 決算額	令和6年度 決算額	増減額
ガス事業収益 ①	7,336,792	6,962,937	△373,855
営業収益	5,622,987	6,022,134	399,147
製品売上	5,622,987	6,022,134	399,147
営業雑収益	181,790	195,396	13,606
受注工事収益	181,787	195,378	13,591
その他営業雑収益	3	18	15
附帯事業収益	6,439	5,424	△1,015
製品売上	4,695	4,938	243
受注工事収益	1,004	190	△814
営業外収益	740	296	△444
営業外収益	1,525,522	739,983	△785,539
繰入金	3,218	2,896	△322
補助金	1,228,290	474,242	△754,048
長期前受金戻入	253,287	219,770	△33,517
その他	40,727	43,075	2,348
特別利益	54	0	△54
固定資産売却益	54	0	△54

支 出

(税抜、単位：千円)

予算科目	令和5年度 決算額	令和6年度 決算額	増減額
ガス事業費用 ②	7,562,742	6,994,456	△568,286
営業費用	7,232,708	6,723,162	△509,546
売上原価	4,421,728	4,028,829	△392,899
供給販売費	2,632,285	2,525,087	△107,198
一般管理費	178,695	169,246	△9,449
営業雑費用	179,773	194,702	14,929
受注工事費	179,773	194,702	14,929
附帯事業費用	6,028	5,322	△706
売上原価	2,409	2,445	36
供給販売費	2,666	2,712	46
受注工事費	953	165	△788
営業外費用	143,863	71,201	△72,662
支払利息	31,996	27,429	△4,567
雑支出	111,867	43,772	△68,095
特別損失	370	69	△301
固定資産売却損	370	69	△301

(税抜、単位：千円)

収支差引額 (①－②) (純損益)	△225,950	△31,519	194,431
-------------------	----------	---------	---------

(2) 資本的収支の状況

収 入

(税抜、単位：千円)

予算科目	令和5年度 決算額	令和6年度 決算額	増減額
ガス事業資本的収入 ①	140,003	143,296	3,293
補助金	192	0	△192
補助金	192	0	△192
工事負担金	139,741	143,250	3,509
工事負担金	139,741	143,250	3,509
固定資産売却収入	70	46	△24
固定資産売却収入	70	46	△24

支 出

(税抜、単位：千円)

予算科目	令和5年度 決算額	令和6年度 決算額	増減額
ガス事業資本的支出 ②	1,448,959	1,431,820	△17,139
建設改良費	876,122	897,301	21,179
供給設備	865,947	862,641	△3,306
業務設備	7,389	34,190	26,801
附帯設備	2,786	470	△2,316
企業債償還金	272,837	234,519	△38,318
企業債償還金	272,837	234,519	△38,318
投資その他の資産	300,000	300,000	0
投資有価証券	300,000	300,000	0

(税抜、単位：千円)

収支不足額 (②－①)	1,308,956 (1,321,561)	1,288,524 (1,300,949)	△20,432 (△20,612)
収支不足額を補填する財源の内訳			
・過年度分損益勘定留保資金	391	452	61
・当年度分損益勘定留保資金	907,170	865,497	△41,673
・積立金	414,000	435,000	21,000
企業債残高	1,692,367	1,457,848	△234,519

※収支不足額下段の括弧書は、特定収入（工事負担金等）分の消費税及び地方消費税納税計算後の値

3 ガス事業の概要

(都市ガス)

区 分		令和5年度	令和6年度	増 減
供 給 区 域 内 戸 数	戸	58,590	59,031	441
供 給 戸 数 (調定件数)	戸	46,262	46,085	△ 177
普 及 率	%	78.96	78.07	△ 0.89
年 間 ガ ス 購 入 量	m ³	56,878,783	56,155,007	△ 723,776
(うちカーボン・オフセット都市ガス)		(2,049,119)	(3,988,465)	(1,939,346)
年 間 ガ ス 送 出 量	m ³	56,877,039	56,155,752	△ 721,287
年 間 ガ ス 販 売 量	m ³	56,790,845	56,068,316	△ 722,529
一 般 契 約		17,382,539	17,237,916	△ 144,623
選 択 契 約		10,931,704	11,461,125	529,421
大 口 契 約		28,476,602	27,369,275	△ 1,107,327
(うちカーボン・オフセット都市ガス)		(2,012,913)	(3,951,441)	1,938,528
一 日 最 大 送 出 量	m ³	273,290	281,444	8,154
一 日 平 均 送 出 量	m ³	155,402	153,851	△ 1,551
一 日 平 均 販 売 量	m ³	155,166	153,612	△ 1,554
有 効 率	%	99.91	99.91	0.00
職 員 数	人	48	47	△ 1

【電気・ガス料金負担軽減支援事業補助金について】

- ・電気・ガス料金負担軽減支援事業による補助金を活用し、令和6年度の該当月の従量料金単価から値引き単価を控除した。

値引き対象期間	値引き単価
令和6年3月、4月使用 (4月、5月検針) 分	1m ³ 当たり13.64円 (税抜き)
令和6年5月使用 (6月検針) 分	1m ³ 当たり6.82円 (税抜き)
令和6年8月、9月使用 (9月、10月検針) 分	1m ³ 当たり15.91円 (税抜き)
令和6年10月使用 (11月検針) 分	1m ³ 当たり9.10円 (税抜き)
令和7年1月、2月使用 (2月、3月検針) 分	1m ³ 当たり9.10円 (税抜き)

(液化石油ガス)

区 分		令和5年度	令和6年度	増 減
供 給 戸 数 (調定件数)	戸	161	160	△ 1
年 間 ガ ス 販 売 量	m ³	10,130	9,789	△ 341
一 日 平 均 販 売 量	m ³	28	27	△ 1

決算書（P2～P3）	1 款 1 項	ガス事業費用 営業費用
------------	---------	-------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
供給販売費	2, 525, 087	2, 632, 285	△107, 198

経 費 内 訳			
報酬	15, 138	修繕費	91, 239
給料	101, 739	特別修繕引当金繰入額	13, 000
手当	50, 284	動力費	317
賞与引当金繰入額	13, 214	光熱燃料費	2, 991
法定福利費	32, 609	使用ガス費	2, 011
法定福利費引当金繰入額	2, 606	賃借料	1, 889
厚生福利費	115	保険料	691
備用品費	7, 696	通信運搬費	12, 573
旅費交通費	1, 017	委託料	158, 082
		手数料	901
		印刷製本費	2, 097
		負担金及び補助	719
		租税課金	114
		需要開発費	19, 290
		雑費	37
		事業者間精算費	933, 055
		固定資産除却費	16, 657
		減価償却費	1, 045, 006

保安対策事業の実施により、安全性の確保に努めるとともに、適切な維持管理により施設の長寿命化や安定供給の確保に取り組むもの

【目的】

ガス事業法に基づき、定期保安調査の実施により需要家の安全を確保するほか、計画的な施設の修繕を実施し、安定供給の確保を図る。また、都市ガス機器設置助成金制度を活用し、既存需要家の都市ガス離れの防止を図る。

【概要及び成果】

保安規程に基づき、南部ガス供給所ガスホルダーの供用中検査を実施したほか、白ガス灯外内管の早期入替えを促進するため工事費の補助制度を創設した。

また、令和 6 年 7 月から「白ガス管改善促進員」を採用して補助制度を対象需要家に広く周知し活用していただくよう、戸別に訪問折衝を行い、白ガス灯外内管削減の進捗を図った。令和 6 年度は 1, 909 件を訪問し、121 件の改善に繋がった。

【実施内容】

○供給所運転管理業務

- ・付臭剤費 3, 246
- ・南部ガス供給所球形ガスホルダー供用中検査工事 49, 100
- ※特別修繕引当金取崩し額

○供給施設維持管理業務

- ・各整圧器室建物修繕工事（下新町、寺、西本町三丁目、小猿屋） 3, 084
- ・整圧器分解点検業務委託 4, 150
- ・春日山供給所受入流量調節弁分解点検業務委託 2, 560
- ・春日山ガス供給所付臭ポンプ点検整備業務委託 1, 620
- ・伊豆殿 A 整圧器室コリオリ流量計基板交換業務委託 1, 200
- ・導管本支管撤去（春日新田一丁目、東城町二丁目他） 3, 405

○ガス管修繕業務

・責任修繕工事 25,804

○ガスメーター取替業務

・検定満期取替用ガスメーター 4,862 個 56,101
・メーター取替業務委託 20,368

○白ガス灯外内管対策

・報酬等（会計年度任用職員 1 人） 2,219

需要家に戸別訪問し、白ガス管の腐食性や地震に対する脆弱性及び補助制度の周知・説明を行い、入替工事の折衝を行った。

・ガス経年灯外内管改善工事補助金 7,634

対 象	補助金額	件 数
生活保護世帯等	改善工事に係る経費の全額 （上限 12 万円）	14 件
上記以外	改善工事に係る経費の 2 分の 1 （上限 6 万円）	107 件

【課題及び今後の方向性】

引き続き白ガス管改善促進員を活用して戸別に訪問折衝を行い、補助制度の周知を行う。今後は、ガス・水道本支管工事や排水設備接続工事と同時施工する場所において入替費用縮減について説明し、入替工事の実施を促す。

○ガス漏えい検査

・導管漏えい検査業務委託料（検査延長 147,499m） 4,867
・令和 6 年度は合併前上越市の高田地区の検査を行った。

○定期保安調査業務

・ガス消費機器調査及びガス内管検査業務委託 37,682

区 分	調査件数	不備発見数	修理済件数
戸建一般需要家調査	7,488 件	75 件	62 件
集合一般需要家調査	3,530 件	0 件	0 件
業務用需要家調査（準特）	167 件	0 件	0 件
メーター無し灯外内管調査	899 件	0 件	0 件
閉栓灯外内管調査	1,646 件	0 件	0 件
不在需要家（未調査）	905 件		
合 計	14,635 件	75 件	62 件

【課題及び今後の方向性】

調査によりガス機器の不備を発見した場合は、需要家に対して改修をしなかった場合の危険性を通知するとともに職員による再調査や通知を行うことで改善を促し、ガス事故の未然防止を図る。

○都市ガスPR活動業務

・ガス水道フェア経費	3,727
・ショールーム「ガステラス」運営費	369
・ガス広告経費	2,297

○都市ガス機器設置助成金

・ガス機器設置助成金	4,440
------------	-------

名 称	助成金額	台数（前年度比）
エネファーム	400,000 円/台	3 台（1 台の減）
エコジョーズ （温水暖房機器同時設置）	30,000 円/台	19 台（3 台の減）
エコジョーズ （温水暖房機能付本体設置）	20,000 円/台	33 台（4 台の減）
ガス衣類乾燥機	30,000 円/台	67 台（12 台の増）

【課題及び今後の方向性】

人口減少やオール電化住宅等の他燃料との競合などにより、家庭用ガス販売量は減少傾向にある。引き続き住宅販売会社等のサブユーザーへの巡回営業や検針時のチラシ配布、各種広告媒体への掲載等を通じて都市ガス設置機器助成制度を積極的に周知し、ガス販売量の維持、拡大につなげる。

○料金徴収委託業務

・料金徴収業務委託	68,017
・料金関係納入令書郵送料金	8,349

決算書（P2～P3）	1 款 1 項	ガス事業費用 営業費用
------------	---------	-------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
一般管理費	169,246	178,695	△9,449

経 費 内 訳					
報酬	2,928	旅費交通費	382	印刷製本費	99
給料	40,485	修繕費	495	交際費	10
手当	21,661	光熱燃料費	2,240	負担金及び補助	5,588
賞与引当金繰入額	5,718	使用ガス費	823	貸倒引当金繰入額	348
法定福利費	12,498	賃借料	829	雑費	194
法定福利費引当金繰入額	1,128	保険料	1,197	固定資産除却費	12
厚生福利費	213	通信運搬費	1,377	減価償却費	28,867
退職給付費	27,000	委託料	11,981		
備用品費	2,741	手数料	432		

【目的】

ガス水道局庁舎の適切な維持管理により執務環境の保全を確保するほか、事業運営に必要なシステムやネットワークを適正に管理し、事務の効率化を推進する。

【概要及び成果】

ガス水道局庁舎施設及び設備の定期的な保守点検等を実施したほか、局のネットワーク及びOA機器等の管理を適正に行った。

【実施内容】

○局ネットワーク管理業務

- ・電算処理運用支援業務委託 2,578
- ・局内イントラネットソフト保守 1,973
- ・電算関連負担金 1,906

○庁舎維持管理業務

- ・庁舎電気料金 2,032
- ・庁舎維持管理業務委託 2,800

決算書（P2～P3）	1 款 2 項	ガス事業費用 営業雑費用
------------	---------	--------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
受注工事費	194,702	179,773	14,929

経 費 内 訳					
報酬	1,458	厚生福利費	16	通信運搬費	45
給料	2,705	備用品費	42	委託料	1,170
手当	1,770	修繕費	5,107	手数料	11
賞与引当金繰入額	337	光熱燃料費	50	工事請負費	180,208
法定福利費	1,041	賃借料	402	器具販売原価	251
法定福利費引当金繰入額	65	保険料	24		

【目的】

ガス内管工事の施工に係る設計審査及び竣工時の検査を実施し、安全で安定したガスを供給する。

【概要及び成果】

申込みのあった内管工事の設計審査及び竣工検査を実施するとともに、適正な施工となるよう指定工事業者に対して指導・監督を行った。

【実施内容】

○受注工事業務

・報酬等（会計年度任用職員 1 人）	2,186
・受注修繕工事	5,042
・工事受付システム維持管理費	1,148
・受注工事請負費	180,208

決算書（P2～P3）	1 款 3 項	ガス事業費用 附帯事業費用
------------	---------	---------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
売上原価・供給販売費・受注工事費	5,322	6,028	△706

経 費 内 訳			
売上原価	2,445	保険料	8
備用品費	374	通信運搬費	30
修繕費	1,221	委託料	390
光熱燃料費	33	手数料	98
賃借料	48	印刷製本費	15
		負担金及び補助	43
		減価償却費	476
		工事請負費	141

【目的】

大潟区の一部地域に供給する液化石油ガスを適正に維持管理することにより、安全で安定したガスを供給する。

【概要及び成果】

液化石油ガス供給施設の維持管理業務を適正に行い、安全で安定的に液化石油ガスを供給した。

【実施内容】

○液化石油ガス販売事業

・液化石油ガス購入費用	2,445
・責任修繕工事	1,197
・液化石油ガス配送委託	240
・受注工事請負費	141

決算書（P4～P5）	1 款 1 項	ガス事業資本的支出 建設改良費
------------	---------	-----------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
供給設備	862, 641	865, 947	△3, 306

経 費 内 訳					
土地	10, 998	車両運搬具	2, 351	導管本支管	571, 598
建物	12, 050	工具器具備品	1, 535	導管供給管	171, 269
機械装置	61, 122	ガスメーター	13, 028	ソフトウェア	18, 690

ガス供給施設の計画的な更新を行い、安全で安定した供給を図るもの

【目的】

ガス事業施設整備計画に基づき、更新時期を迎えたガス施設を計画的に更新し、効率的な供給施設の更新により更新費用の抑制を図る。

【概要及び成果】

ガス事業施設整備計画に基づき、新たな整圧器室及び流量計室を設置するための用地を取得したほか、電気防食のための外部電源装置更新等を行った。

また、他工事の立会受付やガス水道の開閉栓予約について Web 受付システムを導入し、利用者の利便性向上を図った。

【実施内容】

○供給施設更新事業

・新昭和町二丁目整圧器室用地取得費	5, 289
・子安流量計室用地取得費	5, 709
・外部電源装置更新工事	28, 900
・伊豆殿 A 整圧器室計装設備更新工事	3, 760
・中央一丁目整圧器室フィルター改修工事	1, 920
・柿崎供給所ガス流量調節装置更新等工事	2, 636

○新築工事等にかかる工事請負費等

・新設ガスメーター等	13, 028
・導管供給管工事請負費	48, 548

○ガス管の更新

・局計画事業 L=3, 370m	341, 226
------------------	----------

地 区	施工地	実施内容
合併前上越市	高土町三丁目ほか	φ 50～200mm L=2, 997m
大潟区	大潟区潟町ほか	φ 50～100mm L= 373m

・他工事関連事業 L=1, 658m	156, 124
--------------------	----------

○その他

・ガス水道ポータルサイト構築費（水道事業と折半）	1,500
・立会受付システム構築費	372

【課題及び今後の方向性】

ガス事業施設整備計画に基づき、更新時期を迎えたガス施設を計画的に更新する。更新に当たっては、計画耐用年数による更新を基本とするとともに、管網整備状況等に合わせ、効率的な施設配置となるよう努める。なお、令和7年度から同計画の見直しを行う。

※計画耐用年数：資産が使用できる限界の年数であり、この年数を超えると、部品調達ができず、修繕が不可能、又は更新に近い修繕費用がかかるため、この年数に達するまでに更新する。

4 第3次ガス事業中期経営計画との比較

業務指標名	単位	計画	決算	比較	計画 対比	増減理由
家庭用選択契約 獲得件数	件	60	27	△ 33	↓	オール電化住宅との競合に加え、新築着工件数が前年度に比べ15%減となったことや、住宅の高気密・高断熱化による暖房機器の需要低下、物価高騰に伴う温水暖房設備の買い控えなどにより、計画値を下回った。
業務用契約獲得件数 (新規選択契約 獲得件数)	件	令和8年度 までに 12件	4	残り8件	—	都市ガスの環境面及び価格面での優位性、災害時における供給安定性を周知することにより、契約の獲得につながった。 (令和5年度2件、令和6年度2件獲得)
業務用契約獲得件数 (燃料転換獲得件数)	件	令和8年度 までに 1件	1	0	—	都市ガスの環境面及び価格面での優位性、災害時における供給安定性を周知することにより、契約の獲得につながった。 (令和5年度1件獲得)
職員資格取得度	件/人	1.55	1.57	0.02	↑	職員への資格取得を奨励するため、ガス技術の向上に寄与する技術資格取得に対し、助成措置を継続して実施したことから、計画値を上回った。
収納率	%	99.5	99.7	0.2	↑	スマートフォン決済等の多様な納付方法を導入していること及び分割納付や供給停止処分など、個別の状況に応じた収納対策を継続的に実施したことから、計画値を上回った。
経常収支比率	%	101.0	99.6	△ 1.4	↓	ガス販売量の減少に加え、液化天然ガス輸入価格の下落に伴い、ガス売上及び原料ガス費が大幅に減少したことにより、計画値を下回った。
脱炭素社会の実現に向けた取組の理解度	%	25.0	44.0	19.0	↑	ガス水道フェアや各種イベントで脱炭素社会に向けたガス業界及び本市の取組の啓発を行ったことから、計画値を上回った。
カーボン・オフセット 都市ガス新規販売件数	件	令和8年度 までに 2件	5	3	—	大口契約、業務用選択契約更新時に訪問営業、カーボン・オフセット都市ガスの販売強化により、計画値を上回る新規契約を獲得することができた。 (令和5年度2件、令和6年度3件獲得)

※計画対比： ↑ 計画を上回っている ↓ 計画を下回っている

— 複数年度にまたがって継続する事業のため評価しない

所 管 委 員 会	農政建設常任委員会
関 係 案 件	議案第 9 0 号
提 出 課	経営企画課

令和 6 年度上越市水道事業会計決算の概要

水道を安全で安定的に供給するため、施設の更新や基幹管路の耐震化を進めるとともに、第 3 次水道事業中期経営計画に基づき持続可能な事業経営の推進を図った。

建設工事のうち管路整備では、国の交付金事業を活用し、地震災害等における断水被害の影響が大きい基幹管路の耐震化を優先的に取り組んだ結果、基幹管路耐震適合率は 40.8%となった。施設整備では、令和 7 年度の竣工に向けて城山浄水場の大規模改修を進めたほか、更新時期を迎えた柿崎川浄水場の監視制御設備や東部営業所水道施設中央監視装置を更新し、安定供給の確保を図った。

1 令和 6 年度決算の状況

収益的収支では、収益的収入が 59 億 8,361 万 1 千円、収益的支出が 51 億 5,004 万 8 千円となり、8 億 3,356 万 3 千円の純利益となった。

資本的収支では、資本的収入が 5 億 1,951 万 1 千円、資本的支出が 59 億 6,333 万 2 千円となり、不足する 54 億 4,382 万 1 千円は、内部留保資金等で補填した。

(税 抜)

収益的収支

資本的収支

収入：5,983,611千円

支出：5,150,048千円

収入：519,511千円

支出：5,963,332千円

営業収益	4,480,371千円
・給水収益	
営業雑収益	7,275千円
・受注工事収益	
・その他営業雑収益	
営業外収益	1,407,983千円
・受取利息・繰入金	
・加入金・雑収益	
・広域施設営業外収益	
・長期前受金戻入 (1,004,551千円)	
用水供給事業収益	87,022千円
・用水供給営業収益	
・用水供給営業外収益	
・長期前受金戻入 (11,350千円)	
その他の収入	960千円
・特別利益	

営業費用	4,893,103千円
・原水及び浄水費	
・配水及び給水費	
・一般管理費	
・共同施設管理分担費	
・広域施設営業費用	
・減価償却費等 (3,001,639千円)	
※長期前受金戻入分を控除	
営業雑費用	7,624千円
・受注工事費	
営業外費用	192,681千円
・支払利息・雑支出	
・広域施設営業外費用	
用水供給事業費用	56,302千円
・用水供給営業費用	
・用水供給営業外費用	
・減価償却費等 (19,925千円)	
※長期前受金戻入分を控除	
その他の支出	338千円
・特別損失	
・固定資産売却損 (338千円)	
収支差引 (純利益)	833,563千円

補助金	105,636千円
工事負担金	298,759千円
繰入金	114,597千円
固定資産売却収入	519千円

収支不足
▲ 5,443,821千円
(▲ 5,478,293千円) ※1

建設改良費	4,607,082千円
・原水及び浄水設備	
・配水及び給水設備	
・業務設備	
・広域施設設備	
企業債償還金	1,115,353千円
用水供給資本的支出	40,897千円
・用水供給建設改良費	
・用水供給企業債償還金	
投資その他の資産	200,000千円

項目	留保資金等	補填額※3
①過年度分 損益勘定留保資金	154,423千円	22,284千円
②当年度分 損益勘定留保資金※2	1,814,548千円	1,814,009千円
③積立金等	10,812,004千円	3,642,000千円
計	12,780,975千円	5,478,293千円

※1 収支不足額下段の括弧書は、特定収入（工事負担金等）分の消費税及び地方消費税納税計算後の値

※2 減価償却費等から長期前受金戻入分の金額を除いた額

※3 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額を補填する。

2 決算の概要

(1) 収益的収支の状況

収 入

(税抜、単位：千円)

予算科目	令和5年度 決算額	令和6年度 決算額	増減額
水道事業収益 ①	6,164,736	5,983,611	△181,125
営業収益	4,517,714	4,480,371	△37,343
給水収益	4,517,714	4,480,371	△37,343
営業雑収益	8,366	7,275	△1,091
受注工事収益	229	337	108
その他営業雑収益	8,137	6,938	△1,199
営業外収益	1,550,859	1,407,983	△142,876
受取利息	596	6,667	6,071
繰入金	199,177	43,941	△155,236
加入金	35,514	31,066	△4,448
長期前受金戻入	1,002,279	1,004,551	2,272
雑収益	90,101	116,438	26,337
広域施設営業外収益	223,192	205,320	△17,872
用水供給事業収益	87,797	87,022	△775
用水供給営業収益	75,307	75,532	225
用水供給営業外収益	12,490	11,490	△1,000
特別利益	0	960	960
固定資産売却益	0	960	960

支 出

(税抜、単位：千円)

予算科目	令和5年度 決算額	令和6年度 決算額	増減額
水道事業費用 ②	5,146,363	5,150,048	3,685
営業費用	4,863,879	4,893,103	29,224
原水及び浄水費	533,012	561,200	28,188
配水及び給水費	3,012,777	3,085,476	72,699
一般管理費	180,457	201,082	20,625
共同施設管理分担費	37,853	58,259	20,406
広域施設営業費用	1,099,780	987,086	△112,694
営業雑費用	7,354	7,624	270
受注工事費	7,354	7,624	270
営業外費用	212,180	192,681	△19,499
支払利息	174,747	155,024	△19,723
雑支出	14,210	19,041	4,831
広域施設営業外費用	23,223	18,616	△4,607
用水供給事業費用	62,870	56,302	△6,568
用水供給営業費用	61,570	55,260	△6,310
用水供給営業外費用	1,300	1,042	△258
特別損失	80	338	258
固定資産売却損	80	338	258

(税抜、単位：千円)

収支差引額 (①－②) (純損益)	1,018,373	833,563	△184,810
-------------------	-----------	---------	----------

(2) 資本的収支の状況

収 入

(税抜、単位：千円)

予算科目	令和 5 年度 決算額	令和 6 年度 決算額	増減額
水道事業資本的収入 ①	604,497	519,511	△84,986
補助金	145,798	105,636	△40,162
補助金	145,798	105,636	△40,162
工事負担金	339,854	298,759	△41,095
工事負担金	339,854	298,759	△41,095
繰入金	118,708	114,597	△4,111
繰入金	118,708	114,597	△4,111
固定資産売却収入	137	519	382
固定資産売却収入	137	519	382

支 出

(税抜、単位：千円)

予算科目	令和 5 年度 決算額	令和 6 年度 決算額	増減額
水道事業資本的支出 ②	4,218,857	5,963,332	1,744,475
建設改良費	2,845,768	4,607,082	1,761,314
原水及び浄水設備	350,494	2,381,863	2,031,369
配水及び給水設備	1,965,263	1,656,328	△308,935
業務設備	9,704	34,190	24,486
広域施設設備	520,307	534,701	14,394
企業債償還金	1,132,792	1,115,353	△17,439
企業債償還金	933,085	919,308	△13,777
広域施設企業債償還金	199,707	196,045	△3,662
用水供給資本的支出	40,297	40,897	600
用水供給建設改良費	29,120	29,925	805
用水供給企業債償還金	11,177	10,972	△205
投資その他の資産	200,000	200,000	0
投資有価証券	200,000	200,000	0

(税抜、単位：千円)

収支不足額 (②－①)	3,614,360 (3,656,075)	5,443,821 (5,478,293)	1,829,461 (1,822,218)
収支不足額を補填する財源の内訳			
・過年度分損益勘定留保資金	40,557	22,284	△18,273
・当年度分損益勘定留保資金	1,775,518	1,814,009	38,491
・積立金	1,840,000	3,642,000	1,802,000
企業債残高	10,710,728	9,584,403	△1,126,325

※収支不足額下段の括弧書は、特定収入（工事負担金等）分の消費税及び地方消費税納税計算後の値

3 水道事業の概要

(水道事業)

区 分		令和5年度	令和6年度	増 減
給 水 区 域 内 人 口	人	181,494	179,398	△ 2,096
給 水 人 口	人	181,490	179,394	△ 2,096
給 水 戸 数 (調 定 件 数)	戸	86,542	86,622	80
普 及 率	%	100.00	100.00	0.00
年 間 配 水 量	m ³	22,800,778	22,631,852	△ 168,926
年 間 有 収 水 量	m ³	21,066,155	20,807,387	△ 258,768
一 日 最 大 配 水 量	m ³	69,312	66,945	△ 2,367
一 日 平 均 配 水 量	m ³	62,297	62,005	△ 292
一 日 平 均 有 収 水 量	m ³	57,558	57,007	△ 551
有 収 率	%	92.39	91.94	△ 0.45
職 員 数	人	84	83	△ 1

(用水供給事業)

区 分		令和5年度	令和6年度	増 減
年 間 配 水 量	m ³	762,073	769,250	7,177
年 間 有 収 水 量	m ³	762,073	769,250	7,177
一 日 最 大 配 水 量	m ³	3,191	3,040	△ 151
一 日 平 均 配 水 量	m ³	2,082	2,108	26
一 日 平 均 有 収 水 量	m ³	2,082	2,108	26
有 収 率	%	100.00	100.00	0.00

決算書（P38～P39）	1 款 1 項	水道事業費用 営業費用
--------------	---------	-------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
原水及び浄水費	561, 200	533, 012	28, 188

経 費 内 訳					
報酬	2, 574	旅費交通費	164	手数料	38, 717
給料	15, 448	修繕費	20, 565	負担金及び補助	185
手当	8, 470	動力費	46, 154	租税課金	14
賞与引当金繰入額	1, 900	光熱燃料費	3, 856	薬品費	24, 602
法定福利費	4, 866	賃借料	2, 506	雑費	7, 584
法定福利費引当金繰入額	369	保険料	546	固定資産除却費	24, 957
厚生福利費	10	通信運搬費	2, 276	減価償却費	262, 111
備用品費	2, 660	委託料	90, 666		

安全で良質な水道水を供給できる水源の確保と浄水場の適正な運転管理による安定的な水づくりを行うもの

【目的】

浄水設備の点検整備を計画的に行うことで安定的な水づくりを行う。また、水道法に基づく水質検査と水質管理に必要と判断した独自検査を実施し、安全な水道水を供給する。

【概要及び成果】

浄水処理量や水源水質に対応した薬品管理や配水運用など、適正かつ効率的な運転管理により、安全で安定した水づくりを行うとともに経費の削減に努めた。

【実施内容】

○浄水場運転管理業務

・各水源及び浄水場動力費	46, 154
・浄水場運転管理業務委託料	70, 563
・次亜塩素酸ナトリウム等購入費	24, 461

○浄水施設維持管理業務

・名立区不動浄水場ろ過砂補充工事	4, 250
・清里区青柳浄水場ろ過砂補充工事	4, 000
・浄水場設備等緊急修繕工事	8, 698
・浄水施設維持管理業務委託料	4, 277

○水質検査業務

・管末毎日水質検査委託料	4, 790
・水質検査等手数料	38, 038

決算書（P38～P39）	1 款 1 項	水道事業費用 営業費用
--------------	---------	-------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
配水及び給水費	3, 085, 476	3, 012, 777	72, 699

経 費 内 訳					
報酬	17, 015	旅費交通費	1, 154	手数料	1, 473
給料	191, 138	修繕費	160, 765	印刷製本費	1, 153
手当	94, 954	動力費	54, 819	負担金及び補助	370
賞与引当金繰入額	26, 352	光熱燃料費	6, 035	租税課金	219
法定福利費	59, 511	賃借料	4, 316	需要開発費	710
法定福利費引当金繰入額	5, 205	保険料	1, 004	雑費	37
厚生福利費	247	通信運搬費	22, 119	固定資産除却費	172, 708
備用品費	4, 021	委託料	203, 702	減価償却費	2, 056, 449

配水場から給水装置までの施設設備を適切に維持管理し、安全・安心な水を安定して供給するもの

【目的】

故障履歴、運転時間、設置環境を考慮し適切な時期に点検整備を行い、施設の長寿命化を図る。また、水道管の漏水や急を要する他工事の支障移転に迅速に対応し、安定した給水を維持する。

【概要及び成果】

令和 6 年度から 9 年度までの 4 か年計画で実施する五智配水池撤去工事に着手したほか、漏水の発見に時間を要した地区に水道スマートメーターを設置し、漏水の早期発見及び山間部並びに積雪下での通信状況の確認などの実証試験を実施した。

また、携帯端末からガス水道の使用量や料金等の確認を行うことができるガス水道ポータルサイトを導入し、お客様の利便性の向上を図った。

【実施内容】

○配水施設維持管理業務

・ポンプ場設備等緊急修繕費	986
・牧区岩神ポンプ場防水改修工事	3, 000
・ポンプ場等配水動力費	54, 819
・施設維持管理業務委託料	12, 312
・導管本支管撤去工事	54, 415
・五智配水池撤去工事	29, 345

○水道管修繕業務

・責任修繕工事費	93, 009
・責任修繕工事舗装本復旧	23, 990
・補償修繕工事費	4, 325

○水道メーター取替業務	
・取替用水道メーター 12,041 個	27,286
・取替業務委託料	40,795
○漏水調査業務	
・戸別音聴調査業務委託料 14,105 戸	2,476
○マッピングシステム整備業務	
・会計年度任用職員 4 人	6,198
・マッピングシステムソフト保守業務委託料	4,524
○料金徴収委託業務	
・料金システムリース料	1,937
・料金納入令書郵送料	9,609
・料金等徴収業務委託料	123,863
・料金口座振替及びコンビニエンスストア等収納委託料	11,715

【課題及び今後の方向性】

スマートメーターは、通常の水道メーターに比べ2～3倍高額となることや、通信不良となる割合が一定数あることなどから、現段階において導入は困難である。しかしながら、漏水調査での活用や検針業務の効率化のほか、データの利活用や需要家サービス向上に向け、実証試験を継続し導入検討を行う。

決算書（P38～P39）	1 款 1 項	水道事業費用 営業費用
--------------	---------	-------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
一般管理費	201,082	180,457	20,625

経 費 内 訳					
給料	50,384	旅費交通費	327	印刷製本費	99
手当	22,649	修繕費	257	交際費	15
賞与引当金繰入額	6,542	光熱燃料費	3,592	負担金及び補助	4,630
法定福利費	14,557	賃借料	829	貸倒引当金繰入額	1,613
法定福利費引当金繰入額	1,294	保険料	1,516	雑費	299
厚生福利費	197	通信運搬費	2,388	固定資産除却費	12
退職給付費	46,531	委託料	11,958	減価償却費	28,070
備用品費	2,888	手数料	435		

【目的】

ガス水道局庁舎の適切な維持管理により執務環境の保全を確保するほか、事業運営に必要なシステムやネットワークを適正に管理し、事務の効率化を推進する。

【概要及び成果】

ガス水道局庁舎施設及び設備の定期的な保守点検等を実施したほか、局のネットワーク及びOA機器等の管理を適正に行った。

【実施内容】

○局ネットワーク管理業務

・電算処理運用支援業務委託料	2,578
・局内イントラネットソフト保守	1,981
・電算関連負担金	1,906

○庁舎維持管理業務

・庁舎電気料金	2,032
・庁舎維持管理業務委託	2,800

決算書（P38～P39）	1 款 1 項	水道事業費用 営業費用
--------------	---------	-------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
共同施設管理分担費	58,259	37,853	20,406

経 費 内 訳		
共同施設管理分担費	58,259	

【目的】

後谷ダムの維持管理費及び運営費について、県との協定に基づく割合に応じて費用を負担する。

【概要及び成果】

県が実施する高田発電所大規模改修事業に伴い、令和 6 年度から 7 年度まで共同施設分の費用が発生するため、事業費が増加した。

【実施内容】

○共同施設管理業務

・取水導水施設管理費	45,322
・取水導水施設老朽化対策費	12,937

決算書（P38～P39）	1 款 1 項 ・ 4 項	水道事業費用営業費用・用水供給事業費用
--------------	---------------	---------------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
広域施設営業費用・用水供給営業費用	1, 042, 346	1, 161, 350	△119, 004

経 費 内 訳					
給料	40,304	修繕費	74,761	負担金及び補助	75
手当	19,943	動力費	81,049	租税課金	44
賞与引当金繰入額	5,181	光熱燃料費	1,955	薬品費	31,955
法定福利費	11,814	賃借料	294	雑費	46
法定福利費引当金繰入額	1,017	保険料	1,797	固定資産除却費	22,059
厚生福利費	20	通信運搬費	3,907	減価償却費	568,044
退職給付費	4,180	委託料	119,903	共同施設管理分担費	45,265
備用品費	3,577	手数料	5,048	ダム使用料	108

広域浄水場（正善寺・柿崎川）を適正に運転管理するとともに、広域管路などを適正に維持管理し、安全・安心な水を安定して供給するもの

【目的】

浄水設備の点検整備を計画的に行うことで安定的な水づくりを行う。また、安全な水道水を供給するため、水道法に基づく水質検査を実施する。

故障履歴、運転時間、設置環境を考慮し適切な時期に点検整備を行い、施設の長寿命化を図る。

【概要及び成果】

令和 6 年能登半島地震で被害が多かった空気弁について、計画的な入替工事を実施して地震発生時の被害軽減に努めた。

【実施内容】

○浄水場運転管理業務

・ 浄水場動力費	60, 357
・ 浄水場運転管理業務委託料	109, 437
・ 次亜塩素酸ナトリウム等購入費	31, 572

○浄水施設維持管理業務

・ 正善寺浄水場沈澱池搔寄機ガイドローラー修繕工事	6, 230
・ 浄水場設備等緊急修繕工事	13, 265

○水質検査業務

・ 水質検査等手数料	4, 372
------------	--------

○配水施設維持管理業務

・ ポンプ場設備等緊急修繕費	866
・ ポンプ場等配水動力費	20, 692

○水道管修繕業務

・広域施設空気弁入替工事

24,674

※ 上記の金額は、広域施設営業費用 94.7%、妙高市へ給水する用水供給営業費用 5.3%
の合計値

決算書（P40～P41）	1 款 1 項	水道事業資本的支出 建設改良費
--------------	---------	-----------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
原水及び浄水設備	2, 381, 863	350, 494	2, 031, 369

経 費 内 訳			
建物	24, 643	工具器具備品	1, 754
構築物	2, 201, 810		
機械装置	153, 656		

更新時期を迎えた浄水施設の計画的な更新を行い、安全で安定した供給を図るもの

【目的】

水道事業施設整備計画に基づき、更新時期を迎えた水道施設を計画的に更新し、効率的な浄水施設の更新により更新費用の抑制を図る。

【概要及び成果】

令和 7 年度の竣工に向けて城山浄水場大規模改修を進めたほか、更新時期を迎えた東部営業所水道施設中央監視装置や中郷浄水場次亜塩素等貯蔵タンクを更新し、安定供給の確保を図った。

また、クリプトスポリジウム対策として、湧水を水源とする浄水場に小規模ろ過装置を設置した。

【実施内容】

○浄水施設更新事業

・城山浄水場大規模改修事業	2, 201, 810
・東部営業所水道施設中央監視装置更新工事	82, 180
・中郷浄水場薬品貯蔵タンク更新工事	9, 900
・大島区旭浄水場小規模ろ過装置新設工事	13, 023
・安塚区朴ノ木浄水場小規模ろ過装置新設工事	11, 340

【課題及び今後の方向性】

水道事業施設整備計画に基づき、更新時期を迎えた水道施設を計画的に更新する。更新に当たっては、計画耐用年数による更新を基本とするとともに、水需要の状況に対応したダウンサイジングによる施設の効率化を検討する。なお、令和 7 年度から同計画の見直しを行う。

また、事業に当たっては、国の補助金等を活用し、財源確保に努める。

※計画耐用年数：資産が使用できる限界の年数であり、この年数を超えると、部品調達ができず、修繕が不可能、又は更新に近い修繕費用がかかるため、この年数に達するまでに更新する。

決算書（P40～P41）	1 款 1 項	水道事業資本的支出 建設改良費
--------------	---------	-----------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
配水及び給水設備	1, 656, 328	1, 965, 263	△308, 935

経 費 内 訳			
構築物	41, 635	工具器具備品	799
機械装置	56, 068	水道メーター	2, 077
車両運搬具	1, 962	導管本支管	1, 245, 880
		導管給水管	305, 579
		ソフトウェア	2, 328

更新時期を迎えた配水施設の計画的な更新と基幹管路の耐震化を進め、災害に強い水道給水網を構築し、安全で安定した供給を図るもの

【目的】

水道事業施設整備計画に基づき、更新時期を迎えた水道施設を計画的に更新し、効率的な配水及び給水施設の更新により更新費用の抑制を図る。

【概要及び成果】

国の交付金を活用し、浄水場に近い大口径管や病院・避難所への配水管などの基幹管路の耐震化により災害時のリスクを軽減する取組を着実に進めた結果、令和 6 年度末の基幹管路耐震適合率は 40.8% となり、計画値の 40.6% を上回った。

【実施内容】

○配水施設更新事業

・中郷区福崎減圧弁入替工事	9, 418
・大島区下達減圧弁設置工事	6, 404
・牧区第 1 配水池他計装機器更新工事	21, 400
・板倉区栗沢ポンプ場送水ポンプ他更新工事	6, 920

○新築工事等にかかる工事請負費等

・新設水道メーター等	2, 077
・導管給水管工事請負費	267, 791

○水道管の更新

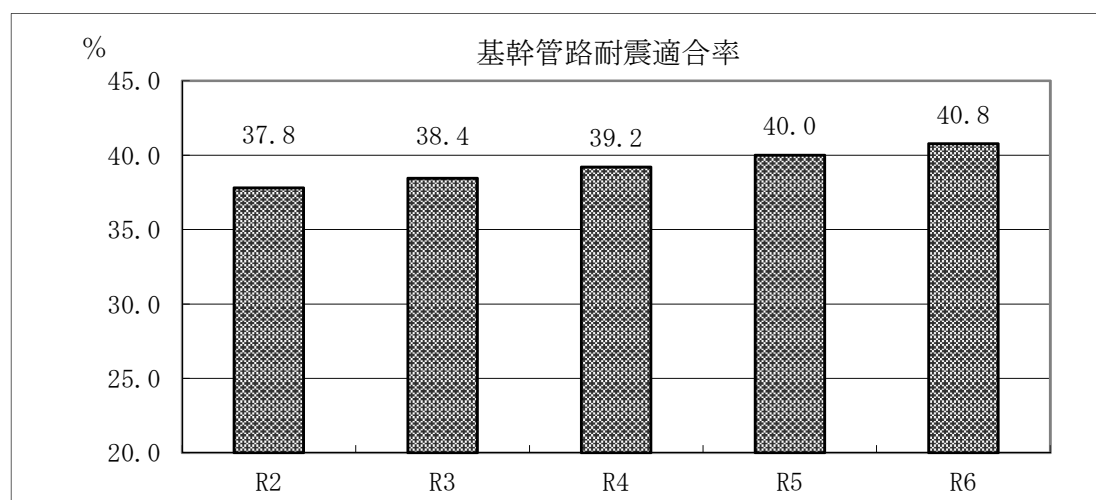
・局計画事業	L=8, 427m	774, 039
--------	-----------	----------

地 区	施工地	実施内容
合併前上越	大貫四丁目ほか	φ 50～250mm L=3, 163m
柿崎区	柿崎区上直海ほか	φ 50mm L= 292m
大潟区	大潟区犀潟ほか	φ 50～200mm L=1, 382m
頸城区	頸城区花ヶ崎ほか	φ 50mm L= 21m
吉川区	吉川区泉ほか	φ 75～100mm L= 33m

中郷区	中郷区岡川ほか	φ 50～150mm L=2, 225m
清里区	清里区今曾根	φ 50～100mm L= 475m
大島区	大島区仁上ほか	φ 150mm L= 268m
安塚区	安塚区下船倉	φ 100mm L= 171m
浦川原区	浦川原区顕聖寺	φ 75～150mm L= 397m

・他工事関連事業 L=3, 685m

372, 735



【課題及び今後の方向性】

水道事業施設整備計画に基づき、将来の更新需要を平準化すべく、計画耐用年数によらず法定耐用年数を経過した非耐震管から更新する。また、更新に当たっては、水需要の状況に対応したダウンサイジングによる効率化を検討する。なお、令和7年度から同計画の見直しを行う。

事業に当たっては、国の交付金を活用し、財源確保に努める。

※基幹管路耐震適合率は、レベル2地震動（震度6強以上）での耐震性能を基準として算出する。基幹管路以外の配水支管の耐震適合率は、レベル1地震動（震度6弱以下）での耐震性能を基準としており、同様の基準で基幹管路を算出した場合の耐震適合率は91.1%となる。

決算書（P40～P41）	4 款 1 項・3 項	水道事業資本的支出 建設改良費・用水供給資本的支出
--------------	-------------	------------------------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
広域施設設備・用水供給建設改良費	564,626	549,427	15,199

経 費 内 訳			
土地	854	工具器具備品	361
建物	47,361		
機械装置	516,050		

【目的】

更新時期を迎えた広域施設などの計画的な更新を行い、安全で安定した供給を図る。

【概要及び成果】

令和 5 年度から実施した柿崎川浄水場監視制御設備更新工事が竣工するなど計画的な施設の更新により、安定給水の確保に努めた。

【実施内容】

○浄水施設更新事業

・ 柿崎川浄水場空調設備更新工事	16,670
・ 正善寺浄水場照明設備更新工事	25,340
・ 柿崎川浄水場監視制御設備更新工事	460,730

※ 上記の金額は、広域施設設備 94.7%、妙高市へ給水する用水供給建設改良費 5.3% の合計値

【課題及び今後の方向性】

水道事業施設整備計画に基づき、更新時期を迎えた水道施設を計画的に更新する。更新に当たっては、計画耐用年数による更新を基本とするとともに、水需要の状況に対応したダウンサイジングによる施設の効率化を検討する。なお、令和 7 年度から同計画の見直しを行う。

4 第3次水道事業中期経営計画との比較

業務指標名	単位	計画	決算	比較	計画 対比	増減理由
有収率	%	91.9	92.2	0.3	↑	配水ブロックごとの有収率管理を行い、漏水の早期発見及び修繕を実施した結果、計画値を上回った。
基幹管路耐震適合率	%	40.6	40.8	0.2	↑	病院や避難所等への基幹管路の耐震化を計画よりも前倒しして進めた結果、計画値を上回った。
管路老朽化率	%	0.3以下	0.2	0.1	↑	基幹管路を中心に更新を着実に進めた結果、計画値を上回った。
職員資格取得度	件/人	1.45	1.5	0.05	↑	職員への資格取得を奨励するため、水道技術の向上に寄与する技術資格取得に対し、助成措置を継続して実施したことから、計画値を上回った。
収納率	%	99.5	99.7	0.2	↑	スマートフォン決済等の多様な納付方法を導入していること及び分割納付や供給停止処分など、個別の状況に応じた収納対策を継続的に実施したことから、計画値を上回った。
経常収支比率	%	118.5	116.2	△ 2.3	↓	年間給水量の減少に伴い、給水収益が減少したため、計画値を下回った。

※計画対比： ↑ 計画を上回っている ↓ 計画を下回っている

所 管 委 員 会	農政建設常任委員会
関 係 案 件	議案第 9 1 号
提 出 課	経営企画課

令和 6 年度上越市下水道事業会計決算の概要

生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、汚水管渠の整備と処理場施設の長寿化対策を実施したほか、浸水被害の軽減に向け、雨水管理総合計画に基づく雨水管渠の整備を進めるとともに、公営企業会計としての経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図り、下水道事業経営戦略に基づく持続可能な事業経営を推進した。

1 令和 6 年度決算の状況

収益的収支では、収益的収入が 89 億 7,555 万 8 千円、収益的支出が 86 億 4,213 万円となり、3 億 3,342 万 8 千円の純利益となった。

資本的収支では、資本的収入が 97 億 2,849 万 2 千円、資本的支出が 118 億 1,258 万 4 千円となり、不足する 20 億 8,409 万 2 千円は、内部留保資金等で補填した。

(税 抜)

収益的収支

資本的収支

収入：8,975,558千円	
営業収益	3,575,617千円
・下水道使用料 ・他会計負担金 ・国庫補助金 ・その他営業収益	
営業外収益	5,397,934千円
・他会計補助金 ・長期前受金戻入 (4,609,539千円) ・雑収益	
特別利益	2,007千円
・その他特別利益	

支出：8,642,130千円	
営業費用	7,735,748千円
・管渠費 ・処理場費 ・浄化槽費 ・普及指導費 ・業務費 ・総係費 ・減価償却費等 (6,031,955千円) ※長期前受金戻入分を控除 ・資産減耗費 (12,539千円)	
営業外費用	906,377千円
・支払利息及び企業債取扱諸費 ・雑支出	
特別損失	5千円
収支差引(純利益) 333,428千円	

収入：9,728,492千円	
企業債	4,786,818千円
・建設改良債 ・資本費平準化債 ・借換債 ・特例措置分 ・災害復旧債	
他会計補助金	3,202,856千円
国庫補助金	1,600,589千円
負担金等	138,229千円
・受益者負担金 ・受益者分担金	
収支不足 ▲ 2,084,092千円 (▲ 2,372,184千円) ※ 1	

支出：11,812,584千円	
建設改良費	3,366,292千円
・管渠建設改良費 ・処理場建設改良費 ・建設総係費 ・災害復旧費	
固定資産購入費	8,974千円
企業債償還金	8,437,318千円

項目	留保資金等	補填額※3
①過年度分 損益勘定留保資金	99,269千円	99,269千円
②当年度分 損益勘定留保資金等※2	2,139,040千円	2,139,040千円
③当年度利益剰余金処分額	333,428千円	133,875千円
計	2,571,737千円	2,372,184千円

※1 収支不足額下段の括弧書は、特定収入（工事負担金等）分の消費税及び地方消費税納税計算後の値
※2 減価償却費等から長期前受金戻入分の金額を除いた額
※3 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額を補填する。

2 決算の概要

(1) 収益的収支の状況

収 入

(税抜、単位：千円)

予算科目	令和5年度 決算額	令和6年度 決算額	増減額
下水道事業収益 ①	8,976,868	8,975,558	△1,310
営業収益	3,541,830	3,575,617	33,787
下水道使用料	3,371,895	3,393,375	21,480
他会計負担金	157,028	159,120	2,092
国庫補助金	8,724	18,773	10,049
その他営業収益	4,183	4,349	166
営業外収益	5,435,031	5,397,934	△37,097
他会計補助金	888,699	778,029	△110,670
長期前受金戻入	4,542,311	4,609,539	67,228
雑収益	4,021	10,366	6,345
特別利益	7	2,007	2,000
固定資産売却益等	7	2,007	2,000

支 出

(税抜、単位：千円)

予算科目	令和5年度 決算額	令和6年度 決算額	増減額
下水道事業費用 ②	8,672,394	8,642,130	△30,264
営業費用	7,686,267	7,735,748	49,481
污水管渠費	260,225	278,901	18,676
雨水管渠費	28,425	27,992	△433
処理場費	1,122,178	1,128,486	6,308
浄化槽費	6,318	6,659	341
普及指導費	10,444	11,119	675
業務費	114,313	117,938	3,625
総係費	107,363	120,159	12,796
減価償却費等	6,037,001	6,044,494	7,493
営業外費用	986,003	906,377	△79,626
支払利息及び企業債取扱諸費	978,899	894,232	△84,667
雑支出	7,104	12,145	5,041
特別損失	124	5	△119
固定資産売却損等	124	5	△119

(税抜、単位：千円)

収支差引額（①－②）（純損益）	304,474	333,428	28,954
-----------------	---------	---------	--------

(2) 資本的収支の状況

収 入

(税抜、単位：千円)

予算科目	令和 5 年度 決算額	令和 6 年度 決算額	増減額
下水道事業資本的収入 ①	8,836,993	9,728,492	891,499
企業債	4,402,810	4,786,818	384,008
建設改良債	1,333,800	1,669,500	335,700
資本費平準化債	1,967,300	1,928,500	△38,800
借換債	901,610	941,618	40,008
特別措置分	158,100	151,300	△6,800
災害復旧債	42,000	95,900	53,900
他会計補助金	3,215,752	3,202,856	△12,896
他会計補助金	3,215,752	3,202,856	△12,896
国庫補助金	1,082,961	1,600,589	517,628
国庫補助金	1,082,961	1,363,079	280,118
災害復旧費	0	237,510	237,510
負担金等	135,459	138,229	2,770
受益者負担金	127,066	91,295	△35,771
受益者分担金	8,393	11,094	2,701
工事負担金	0	35,840	35,840
固定資産売却益	11	0	△11

支 出

(税抜、単位：千円)

予算科目	令和 5 年度 決算額	令和 6 年度 決算額	増減額
下水道事業資本的支出 ②	11,000,002	11,812,584	812,582
建設改良費	2,566,450	3,366,292	799,842
污水管渠建設改良費	1,431,836	1,306,105	△125,731
雨水管渠建設改良費	211,057	597,691	386,634
処理場建設改良費	455,474	1,032,000	576,526
建設総係費	280,299	142,174	△138,125
災害復旧費	187,784	288,322	100,538
固定資産購入費	1,759	8,974	7,215
有形固定資産購入費	1,759	8,974	7,215
企業債償還金	8,378,965	8,437,318	58,353
企業債償還金	8,378,965	8,437,318	58,353
その他資本的支出	52,828	0	△52,828

(税抜、単位：千円)

収支不足額 (②－①)	2,163,009 (2,384,303)	2,084,092 (2,372,184)	78,917 (12,119)
収支不足額を補填する財源の内訳			
・ 過年度分損益勘定留保資金	0	99,269	99,269
・ 当年度分損益勘定留保資金等	2,079,829	2,139,040	59,211
・ 当年度利益剰余金処分額	304,474	133,875	△170,599
企業債残高	84,195,815	80,986,315	△3,209,500

※収支不足額下段の括弧書は、特定収入（工事負担金等）分の消費税及び地方消費税納税計算後の値

3 下水道事業の概要

(公共下水道整備状況)

			令和5年度	令和6年度	増 減
全体計画区域	面積 A	ha	4,656.7	4,656.7	0.0
	人口 B	人	146,870	135,763	△ 11,107
事業計画区域	面積 C	ha	4,532.7	4,532.7	0.0
整備区域	整備及び供用済面積 D	ha	3,995.2	4,036.6	41.4
	供用人口 E	人	121,177	120,814	△ 363
行政人口 F		人	181,512	179,384	△ 2,128
人口普及率 G (E/F)		%	66.8	67.3	0.5
進捗率	面積ベース H (D/A)	%	85.8	86.7	0.9
	人口ベース I (E/B)	%	82.5	89.0	6.5
接続人口 J		人	115,837	115,666	△ 171
接続率 K (J/E)		%	95.6	95.7	0.1

(農業集落排水整備状況)

			令和5年度	令和6年度	増 減
計画及び供用済面積 A		ha	2,720.6	2,720.6	0.0
計画区域内人口 B		人	27,045	26,519	△ 526
供用人口 C		人	27,045	26,519	△ 526
進捗率 D (C/B)		%	100.0	100.0	0.0
接続人口 E		人	25,863	25,382	△ 481
接続率 F (E/C)		%	95.6	95.7	0.1

(西部中山間地区における合併処理浄化槽整備状況)

		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
対象世帯	A	602	595	583	574	561	550	543	534	526	516
市設置基数	B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市設置基数(累計)	C	123	122	122	123	123	123	121	118	118	117
事業外設置累積基数	D	45	46	48	48	48	48	50	52	50	48
汚水処理率 (C+D) / A (%)	E	27.9	28.2	29.2	29.8	30.5	31.1	31.5	31.8	31.9	32.0

※C及びDは休止又は廃止した浄化槽を含まない。

決算書（P90～91）	1 款 1 項	下水道事業費用 営業費用
-------------	---------	--------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
污水管渠費	278, 901	260, 225	18, 676

経 費 内 訳					
給料	2,334	備用品費	89	使用料及び賃借料	19,587
手当	1,710	燃料費	214	修繕費	52,381
賞与引当金繰入額	304	光熱水費	46,841	材料費	360
報酬	51	通信運搬費	8,693	保険料	580
法定福利費	689	委託料	144,954	公課費	12
法定福利費引当金繰入額	69	手数料	33		

汚水を適切に排除するため、管路施設の機能を維持し、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を図るもの

【目的】

污水管路施設の適切な維持管理及び老朽化に伴う施設の計画的な更新により、公共用水域の水質保全を図る。

【概要及び成果】

污水管路施設の定期点検や調査、清掃及び修繕を適切に実施し、下水道機能を確保することができた。

【実施内容】

○公共下水道（污水）及び特定環境保全公共下水道

・マンホールポンプ電気料金	24, 190
・マンホールポンプ維持管理業務委託	42, 793
・管渠調査業務委託	27, 962
・下水道（污水）台帳作成業務委託	11, 047
・管渠等修繕	36, 437

○農業集落排水

・マンホールポンプ電気料金	22, 625
・マンホールポンプ維持管理業務委託等	61, 223
・管渠等修繕	15, 944

【課題及び今後の方向性】

污水管路施設について、年数の経過とともに、管路の破損や変位による機能不全のほか、道路陥没などの発生が高まるため、計画的な管路調査の実施と清掃や修繕など適切に維持管理を行っていく。

また、農業集落排水については、今後も処理区域内の人口減少が予想される中、生活排水処理推進員による接続促進を行うなど未接続世帯の解消に取り組む。

決算書（P90～91）	1 款 1 項	下水道事業費用 営業費用
-------------	---------	--------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
雨水管渠費	27,992	28,425	△433

経 費 内 訳			
給料	4,572	法定福利費引当金繰入額	137
手当	4,541	光熱水費	492
賞与引当金繰入額	668	委託料	9,388
法定福利費	1,579	使用料及び賃借料	251
		修繕費	6,106
		負担金	234
		保険料	24

雨水幹線の排水機能を維持し、生活環境の保全及び内水被害の軽減に努め、市民生活の安全・安心を確保するもの

【目的】

雨水幹線の排水機能を維持し、豪雨時における内水被害の軽減を図る。

【概要及び成果】

雨水幹線や排水樋門等の点検や清掃、修繕等を適切に実施し、排水機能を確保することができた。

【実施内容】

○公共下水道（雨水）

・排水ポンプ場等電気料金	479
・排水ポンプ場及び排水樋門維持管理業務委託	1,019
・下水道（雨水）台帳作成業務委託	1,020
・管渠清掃業務委託	4,970
・雨水幹線、排水樋門等修繕	6,106

【課題及び今後の方向性】

平常時から雨水幹線や排水樋門等の維持管理を適切に行うとともに、非常時には、河川及び農業用水路等の管理者と連携し、内水被害の軽減に努める。

決算書（P90～91）	1 款 1 項	下水道事業費用 営業費用
-------------	---------	--------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
処理場費	1, 128, 486	1, 122, 178	6, 308

経 費 内 訳					
給料	17, 929	備用品費	31, 810	手数料	133
手当	8, 815	燃料費	396	使用料及び賃借料	3, 930
賞与引当金繰入額	2, 641	光熱水費	262, 937	修繕費	76, 745
法定福利費	5, 205	印刷製本費	80	負担金	40
法定福利費引当金繰入額	511	通信運搬費	1, 560	保険料	1, 892
旅費	93	委託料	713, 759	公課費	10

下水道センター、浄化センター及び農業集落排水処理施設において、汚水を適正に処理し、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を図るもの

【目的】

家庭及び事業所から排出される汚水を適正に処理することにより、公共用水域の水質保全を図る。あわせて処理工程で生じる下水汚泥を再資源化することにより、環境の保全及び資源の有効利用を図る。

【概要及び成果】

汚水を適正に処理するとともに、下水道センター及び各浄化センターで発生した汚泥の全量を再資源化することができた。

【実施内容】

○下水道センター及び各浄化センター

・薬剤消耗品等	31, 757
・電気料金、ガス料金、水道料金	134, 309
・下水道センター運転維持管理業務委託	107, 400
・浄化センター包括的維持管理業務委託	185, 116
・汚泥運搬処理業務委託	109, 204
・施設点検業務委託等	26, 120
・施設修繕	66, 966

○農業集落排水処理施設

・備用品費	53
・電気料金、水道料金	128, 628
・農業集落排水処理場維持管理業務委託	253, 962
・汚泥減容化装置管理業務委託	25, 320
・水質分析業務委託等	6, 637
・設備修繕	9, 779

【課題及び今後の方向性】

○下水道センター、各浄化センター及び農業集落排水処理施設

- ・物価やエネルギー価格の高騰により、汚泥運搬処理に係る経費が値上がりしていることから、引き続き、脱水機の効率的な運転による汚泥発生量の抑制を図っていく。
- ・経年劣化により、突発的な不具合が発生していることから、維持管理事業者と連携を図り、速やかに対応していく。

決算書（P90～91）	1 款 1 項	下水道事業費用 営業費用
-------------	---------	--------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
浄化槽費	6, 659	6, 318	341

経 費 内 訳			
通信運搬費	8	修繕費	636
委託料	5, 995		
手数料	20		

【目的】

市が設置した合併処理浄化槽の維持管理を適切に行うことにより、西部中山間地区における生活環境の改善、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を図る。

【概要及び成果】

浄化槽法に基づき、合併処理浄化槽の法定検査や点検、清掃等の維持管理を適切に行い、公共用水域の水質保全に努めた。

【実施内容】

- 合併処理浄化槽維持管理業務委託 5, 995

区 名	町 内	基 数
谷浜・桑取	西横山、小池、西山寺、下綱子、高住、中桑取 丹原、鍋ヶ浦、吉浦、茶屋ヶ原、有間川、西戸野花立 皆口、西谷内、北谷、土口、増沢、大淵、西吉尾	89
金 谷	下正善寺、中正善寺、上正善寺、中ノ俣	28
合 計		117

- 合併処理浄化槽修繕 636

【課題及び今後の方向性】

事業実施地区では少子高齢化が進んでおり、今後浄化槽の休止により稼働基数が減少することによって、使用料収入の減少が予想される。

市が設置した合併浄化槽について、引き続き、清掃等の適切な維持管理と保守点検を実施するとともに、老朽化したブロワ機器等の更新を行っていく。

決算書（P90～91）	1 款 1 項	下水道事業費用 営業費用
-------------	---------	--------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
普及指導費	11, 119	10, 444	675

経 費 内 訳			
手当	991	備用品費	21
賞与引当金繰入額	436	燃料費	89
報酬	4, 588	通信運搬費	144
法定福利費	466	手数料	11
法定福利費引当金繰入額	71	使用料及び賃借料	320
旅費	107	修繕費	60
		補助金	563
		保険料	15
		貸付金	3, 232
		公課費	5

公共下水道及び農業集落排水における接続率の向上を図るため、排水設備工事費の助成などの接続支援や、生活排水処理推進員の戸別訪問による接続相談を実施するもの

【目的】

供用区域における排水設備の設置を促進することにより、生活環境の改善、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を図る。

【6 年度目標】

- ・公共下水道については、生活排水処理推進員による接続相談を行うことにより、接続率の向上を図る。
- ・農業集落排水については、未接続世帯数に対して接続を促す啓発文書を送付するとともに、農業集落排水管理組合と連携し、未接続世帯の解消に取り組む。

【概要及び成果】

生活排水処理推進員による未接続世帯への訪問等を通じて、公共下水道への理解と協力を求めるとともに、助成金制度の活用など接続相談を行ったことにより接続の促進が図られた。

【実施内容】

○公共下水道

- ・報酬等 6, 979
- ・排水設備工事費助成金 502
- ・排水設備設置資金融資預託金 2, 983
- ・排水設備設置資金利子補給補助金 61

○農業集落排水

- ・排水設備設置資金融資預託金 248
- ・排水設備設置資金利子補給補助金 7

○実施内容、これまでの経過等

区 分		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
生活排水処理推進員	推進員数（人）	3	3	3
	訪問件数（件）	9,038	9,137	9,161
	接続件数（件）	288	242	173

区 分		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
排水設備工事費助成金	助成件数（件）	13	8	5
	助成金額（千円）	1,983	588	502
排水設備設置資金融資	預託件数（件）	25	19	27
	預託金額（千円）	3,261	2,514	2,983
	うち 新規	件数（件）	1	7
		金額（千円）	365	1,281
利子補給補助金	補助件数（件）	22	20	25
	補助金額（千円）	80	63	60

【課題及び今後の方向性】

今後も生活排水処理推進員による訪問を継続し、下水道への接続を促すとともに、接続意欲の高い地域を重点に巡回するなど訪問方法を見直し接続促進に努めていく。

決算書（P92～93）	1 款 1 項	下水道事業資本的支出 建設改良費
-------------	---------	------------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
污水管渠建設改良費	1, 306, 105	1, 431, 836	△125, 731

経 費 内 訳			
委託料	46, 079		
工事請負費	1, 055, 047		
補償金	204, 979		

生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図るため、公共下水道の整備を実施するもの

【目的】

悪臭や害虫の発生源を排除するため污水管渠を整備し、衛生的で快適な生活環境へ改善を図るとともに、管路施設の老朽化に伴う更新を計画的に実施する。

農業集落排水処理施設を公共下水道施設に統合し、汚水処理の効率化及び維持管理費の抑制を図る。

【6 年度目標】

- ・公共下水道全体計画（污水）に対し、整備面積ベースの進捗率を 86.7%にする。
- ・工事については、早期に発注し、11 月末までに現場作業を完了する。

【概要及び成果】

公共下水道全体計画区域に対する整備面積ベースの進捗率が 86.7%になり、目標を達成することができた。

関連工事との工程調整及び関係機関との協議に日数を要したため、一部の工事が繰越しとなった。

【実施内容】

○公共下水道污水整備事業

◇令和 5 年度繰越分 34, 828

地 区	処理地区	施工地	実施内容
合併前 上越市	春日南部	滝寺ほか	污水管渠工事 φ150mm L=402m
	高田西部	大貫四丁目	マンホールポンプ設置工事 1 か所

◇令和 6 年度分 1, 188, 651

地 区	処理地区	施工地	実施内容
合併前 上越市	八千浦	下荒浜	污水管渠工事 φ150mm L=261m
	有田	富岡	污水管渠工事 φ150mm L=295m
	春日南部	岩木	污水管渠工事 φ150mm L=243m

地 区	処理地区	施工地	実施内容
合併前 上越市	高田西部	大貫三丁目	汚水管渠工事 φ150mm L=194m
	稲田	四ヶ所ほか	汚水管渠工事 φ150～300mm L=2,452m
	高田南部	石沢	汚水管渠工事 φ150～300mm L=181m
	処理区域内一円		舗装本復旧工事 一式
			物件移転補償 ガス管、水道管 一式
			接続桝設置工事 132 か所
柿崎区	処理区域内一円		接続桝設置工事 2 か所
大潟区	処理区域内一円		接続桝設置工事 15 か所
頸城区	処理区域内一円		接続桝設置工事 15 か所

○公共下水道汚水連携事業

◇令和6年度分

16,929

地 区	処理地区	施工地	実施内容
合併前 上越市	津有南部	下新町ほか	実施設計業務委託 一式
			地質調査業務委託 φ66～86mm 2 孔

○その他

・総合地震対策計画策定業務委託	13,800
・マンホール蓋取替工事	8,142
・管路修繕工事	10,677
・接続桝設置工事（特定環境保全公共下水道）	6,447

【課題及び今後の方向性】

関連工事との工程調整や関係機関との協議に日数を要し、一部の工事が繰越しとなったため、早期の協議や調整など、適切な進捗管理を行っていく。

決算書（P92～93）	1 款 1 項	下水道事業資本的支出 建設改良費
-------------	---------	------------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
雨水管渠建設改良費	597, 691	211, 057	386, 634

経 費 内 訳			
委託料	72, 360		
工事請負費	478, 546		
補償金	46, 785		

浸水被害の軽減を図るため、公共下水道の整備を実施するもの

【目的】

集中豪雨などに対応するため雨水管渠を整備し、浸水被害の軽減を図る。

【6 年度目標】

工事については、早期に発注し、11 月末までに現場作業を完了する。

【概要及び成果】

雨水排水施設の設計及び工法検討、また、それらに係る関係機関協議に日数を要したことから、一部の委託業務や工事が繰越しとなった。

内水ハザードマップを作成し、令和 7 年 3 月に公表。（令和 7 年 7 月関係各戸に配布済）

【実施内容】

○令和 5 年度繰越分

239, 903

地 区	排水区	施工地	実施内容
合併前 上越市	本城町	北城町一丁目	仮設構造物詳細設計業務委託ほか 一式
			雨水管渠工事 U1800×1600mm ほか L=138m
	中通町	寺町一丁目	雨水管渠工事設計書作成業務委託 一式
			雨水管渠工事 □1300×1200mm ほか L=38m
			物件移転補償 ガス管、水道管ほか 一式
	春日新田東	春日新田二丁目	設計書作成業務委託 一式 排水ポンプ設置工事（土木・機械・電気）一式 （令和 5～6 年度 債務負担行為）
	鴨島第一	鴨島二丁目	排水ポンプ実施設計業務委託 一式
	処理区域内一円		内水ハザードマップ作成業務委託 一式
			水位監視装置設置工事 一式

○令和 6 年度分

357, 788

地 区	排水区	施工地	実施内容
合併前 上越市	本城町	北城町一丁目	雨水管渠工事 □1600×1500mm L=78m (令和 6～7 年度 債務負担行為)
			物件移転補償 ガス管、水道管ほか 一式
	中通町	寺町一丁目	市場価格調査業務委託 一式
			雨水管渠工事 □1200×1100mm L=66m
			物件移転補償 ガス管、水道管ほか 一式
	春日新田東	春日新田二丁目	排水ポンプ設置工事(土木・機械・電気)一式 (令和 5～6 年度 債務負担行為)
	下源入	下源入	現況測量業務委託 一式
	処理区域内一円		事業再評価業務委託 一式

【課題及び今後の方向性】

「上越市雨水管理総合計画」に基づき、事業の効率化や財源確保に努めながら、着実に整備を進めていく。

決算書（P92～93）	1 款 1 項	下水道事業資本的支出 建設改良費
-------------	---------	------------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
処理場建設改良費	1,032,000	455,474	576,526

経 費 内 訳			
給料	7,238	旅費	42
手当	4,455	備用品費	15
法定福利費	2,124	委託料	224,657
		使用料及び賃借料	11
		工事請負費	793,458

下水道センター及び浄化センターの劣化状況の点検・調査結果を基に策定した公共下水道ストックマネジメント修繕・改築計画に基づき、設備の更新及び施設の耐震化を計画的に行うとともに、農業集落排水処理施設の安定的な機能を確保するため、設備等の改築更新を行い、施設全体の長寿命化を図るもの

【目的】

下水道センター及び浄化センターについては、公共下水道ストックマネジメント修繕・改築計画に基づき、設備の計画的な改築更新を行い、施設全体の長寿命化を図る。

また、農業集落排水処理施設は、最適整備構想に基づき、設備等の計画的な改築更新を行い、施設全体の長寿命化を図る。

【6 年度目標】

- ・各浄化センターにおける設備の改築工事は、早期に発注し、年度内に着手する。
- ・農業集落排水処理施設（上越第一地区）における機能強化工事は、早期に発注し、年度内に完了する。
- ・国の補正予算活用分については、早期発注に努める。

【概要及び成果】

○下水道センター機能高度化事業

- ・半導体や電子部品の不足により、令和 6 年度に繰り越して実施していた沈砂池機械棟受変電設備改築工事は、令和 6 年度内に完了し、施設の長寿命化を図ることができた。
- ・国の令和 5 年度補正予算を活用して実施した沈砂池機械棟建築付帯設備改築工事の各工事は、令和 6 年度内に完了し、施設の長寿命化を図ることができた。また、各設計業務委託及び水処理棟耐震診断業務委託は、令和 6 年度内に完了した。
- ・国の令和 5 年度補正予算を活用し、令和 6 年度から 2 か年に渡って実施する砂ろ過・消毒設備改築工事は、令和 6 年 5 月に発注し、令和 7 年度内に完了する見込みとなった。

○浄化センター機能高度化事業

- ・国の令和 5 年度補正予算を活用して実施した柿崎浄化センター及び板倉浄化センターの耐震診断業務委託は、令和 6 年度内に完了した。
また、浦川原浄化センター電気設備改築工事は、令和 6 年度内に完了し、施設の長寿命化を図ることができた。
- ・令和 6 年度から 2 か年に渡って実施する大潟浄化センター電気設備改築工事及び板倉浄化センター中央監視設備改築工事は、予定どおり発注し、令和 7 年度内に完了

する見込みとなった。

○農業集落排水処理施設機能強化対策事業

- ・国の令和 5 年度補正予算を活用して実施した維持管理適正化計画策定業務委託及び実施設計業務委託については、令和 6 年度内に完了するとともに、北諏訪地区ほか 6 地区の機能強化工事（上越第一地区）を発注し、事業の進捗が図られた。

○その他

- ・下水道センター、浄化センター及び農業集落排水処理施設について、修繕工事を適切に実施し、下水道機能を確保することができた。

【実施内容】

○下水道センター機能高度化事業

◇令和 5 年度繰越分

500,264

地 区	施工地	実施内容
合併前 上越市	藤野新田	沈砂池機械棟受変電設備改築工事（令和 4～5 年度 債務負担行為） 一式
		沈砂池機械棟受変電設備改築工事監理業務委託（令和 4～5 年度 債務負担行為） 一式
		沈砂池機械棟建築付帯設備改築（建築機械、建築電気、土木、建築）工事 各一式
		沈砂池機械棟建築付帯設備改築工事監理業務委託 一式
		砂ろ過・消毒設備改築機械設備工事（令和 5～7 年度 債務負担行為） 一式
		砂ろ過・消毒設備改築（電気設備その 23）工事（令和 5～7 年度 債務負担行為） 一式
		砂ろ過・消毒設備改築工事監理業務委託（令和 5～7 年度 債務負担行為） 一式
		汚泥脱水設備等改築詳細設計業務委託 一式
		脱水機棟耐震補強実施設計業務委託 一式
		水処理棟耐震診断業務委託 一式
		耐水化対策工事実施設計業務委託 一式

○浄化センター機能高度化事業

◇令和 5 年度繰越分

104,587

地 区	施工地	実施内容
柿崎区	馬正面	柿崎浄化センター耐震診断業務委託 一式
浦川原区	飯室	浦川原浄化センター電気設備改築工事 一式
		浦川原浄化センター電気設備改築工事監理業務委託 一式
板倉区	田井	板倉浄化センター耐震診断業務委託 一式

◇令和 6 年度分

40,070

地 区	施工地	実施内容
大潟区	下小船津浜	大潟浄化センター電気設備改築工事（令和 6～7 年度 債務負担行為） 一式
		大潟浄化センター電気設備改築工事監理業務委託（令和 6～7 年度 債務負担行為） 一式
		市場価格調査（電気設備）業務委託 一式
板倉区	田井	板倉浄化センター中央監視設備改築工事（令和 6～7 年度 債務負担行為） 一式
		板倉浄化センター中央監視設備改築工事監理業務委託（令和 6～7 年度 債務負担行為） 一式
		市場価格調査（中央監視設備等）業務委託 一式

○農集集落排水処理施設機能強化対策事業

◇令和 5 年度繰越分

281,050

地 区	施工地	実施内容
合併前 上越市 ほか	中真砂ほか	機能強化工事（上越第一地区） （北諏訪、保倉東部、保倉西部、高士東部、頸城北部、川浦、下名立） 一式
	藤塚ほか	維持管理適正化計画策定業務委託（上越第二地区） （高士西部四辻、津有中部、和田東部、津有北部諏訪、島倉、岡木、岡田、末野、名南） 一式
	頸城区潟ほか	農業集落排水施設実施設計業務委託（上越第一 2 期地区） （頸城東部、頸城西部） 一式

◇令和 6 年度分

48,732

地 区	施工地	実施内容
合併前 上越市 ほか	東中島ほか	機能強化工事（上越第一地区） （北諏訪、保倉東部、保倉西部、高士東部、頸城北部、川浦、下名立） 一式
	東中島ほか	資材価格調査業務委託（上越第一地区） （北諏訪、保倉東部、保倉西部、高士東部、頸城北部、川浦、下名立） 一式

○その他

43,412

地 区	施工地	実施内容
合併前 上越市 ほか	処理場区域内 一円	下水道センター及び浄化センター修繕工事 一式
		農業集落排水処理施設修繕工事 一式

【課題及び今後の方向性】

○下水道センター機能高度化事業及び浄化センター機能高度化事業

- ・機能高度化事業を計画的に実施するため、国の補正予算を活用するなど、確実に予算を確保しながら処理場等の改築更新を実施していく。

○農業集落排水処理施設機能強化対策事業

- ・農業集落排水処理施設機能強化対策事業を計画的に実施するため、国の補正予算を活用するなど、確実に予算を確保しながら処理施設の機能強化を実施していく。

○その他

- ・下水道センター、浄化センター及び農業集落排水処理施設について、下水道機能を確保するため、修繕工事を適切に実施していく。

決算書（P92～93）	1 款 1 項	下水道事業資本的支出 建設改良費
-------------	---------	------------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
建設総係費	142, 174	280, 299	△138, 125

経 費 内 訳					
給料	72, 327	旅費	95	使用料及び賃借料	3, 686
手当	38, 834	備用品費	1, 138	負担金	160
報酬	2, 878	通信運搬費	13		
法定福利費	22, 802	委託料	240		

下水道事業の建設改良費に関する業務全般の適切かつ円滑な事務の執行を図るもの

【目的】

上越市污水处理施設整備アクションプランに基づき、事業計画等を変更する。

【6 年度目標】

委託業務を早期に発注し、年度内に完了する。

【概要及び成果】

上越処理区、柿崎処理区及び大潟処理区における事業計画変更等は、都市計画決定のスケジュールと整合を図るため年度内の完了が見込めなくなり、繰越しとなった。

【課題及び今後の方向性】

早期の協議やスケジュール調整などにより、適切に進捗管理を行っていく。

決算書（P92～93）	1 款 1 項	下水道事業資本的支出 建設改良費
-------------	---------	------------------

単位：千円

科 目 名	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	比 較
災害復旧費	288,322	187,784	100,538

経 費 内 訳			
委託料	7,298		
工事請負費	223,524		
補償金	57,500		

台風や地震等自然災害の発生により被災した下水道施設の復旧工事を早期に行い、機能回復を図るもの

【目的】

令和 6 年能登半島地震により被災した下水道施設の復旧工事を早期に行い、機能回復を図る。

【概要及び成果】

五智三丁目ほかの管路復旧工事は、関連工事との工程調整や想定外の埋設物等により工事に時間を要したため、繰越しとなった。

下水道センターは、最終沈殿池復旧工事や下水道災害復旧工事の実施により年度内に復旧することができた。

【実施内容】

○公共土木施設災害復旧事業

◇令和 5 年度繰越分

7,298

地 区	地 名 施設名	実施内容
合併前 上越市	五智三丁目ほか	管路調査業務委託ほか 一式

◇令和 6 年度分

281,024

地 区	地 名 施設名	実施内容
合併前 上越市	五智三丁目ほか	舗装復旧工事 一式
	下水道センター	最終沈殿池復旧工事（銅板、フライトほか）一式
		下水道災害復旧工事（最終沈殿池汚泥掻寄機）一式

【課題及び今後の方向性】

災害復旧は、早期完了に向けて取り組んでいく。

所 管 委 員 会	農政建設常任委員会
関 係 案 件	報告第 9 号
提 出 課	経営企画課

予算書（P65～P66）	1 款 1 項	水道事業費用 営業費用
--------------	---------	-------------

単位：千円

科 目 名	補 正 前	補 正 額	補 正 後
原水及び浄水費	763, 796	1, 283, 300	2, 047, 096

経 費 内 訳			
修繕費	1, 270, 100		
動力費	13, 200		

【補正理由】

渇水対応において、水道水の原水確保に向けた消雪用井戸から浄水場までの間の配管工事等に要する経費を緊急に確保するため、補正予算を専決処分したもの（8月1日専決）

【補正内容】

予算科目	補 正 前	補 正 額	補 正 後
修繕費	29, 481	1, 270, 100	1, 299, 581
浄水場機械緊急修繕	14, 190	66, 700	80, 890
導水管源井修繕	0	1, 203, 400	1, 203, 400
動力費	79, 797	13, 200	92, 997
浄水場動力費	43, 752	1, 100	44, 852
取水井動力費	8, 105	12, 100	20, 205

【実施内容】

項 目	地 名	実施内容
浄水施設維持管理業務	南城町四丁目	旧南城浄水場緊急取水設備改修工事
	黒田・灰塚・朝日	上越妙高駅消雪井戸緊急取水工事
	岩木	上越教育大学他消雪井戸緊急取水工事
	上綱子ほか	綱子川～正善寺川送水管設置工事ほか
浄水場運転管理業務	黒田ほか	上越妙高駅ポンプ電気代ほか

予算書（P65～P66）	1 款 1 項	水道事業費用 営業費用
--------------	---------	-------------

単位：千円

科 目 名	補 正 前	補 正 額	補 正 後
配水及び給水費	3, 302, 473	15, 000	3, 317, 473

経 費 内 訳		
修繕費	15, 000	

【補正理由】

渇水対応において、配水区域の拡大に要する経費を緊急に確保するため、補正予算を専決処分したもの（8 月 1 日専決）

【補正内容】

予算科目	補 正 前	補 正 額	補 正 後
修繕費	212, 154	15, 000	227, 154
責任修繕工事	3, 987	15, 000	18, 987

【実施内容】

項 目	地 名	実施内容
水道管修繕業務	牧区宮口ほか	牧区宮口～大字北方地内仮設水道管布設工事